

磐城日報

発行所 磐城日報社
電話(呼) 二〇三八番
編集発行人 後藤幸夫
印刷人 丸山徳平
毎週水曜日休刊 購読料
ヶ月三十四円 一部一円

賣れぬピース一掃

専賣公社平出張所が本腰

専賣公社平出張所で夜二回公開するが会場は未定である。券は市内のタバコ屋さんの店頭で買れぬ高級タバコとして不遇をなげいている。ピース約六千個を一掃するため近くピース二個を御買上げの愛煙家に無料招待券をおあげ致します。と發表来る二十五日のリスマス當日市内風戸興行部の手を通して帝都一流の楽園を招き愛煙家のみに晝

賣行わるく

小賣店も悲鳴

専賣益金千三百億圓達成には小賣店側からストックがどうしてもタバコを賣らな相當ある際矢つぎ早く大量ければならないので専賣公の配給は應じかねると金詰社平出張所では樂園招待券を訴へているので同所で付ピース販賣をはじめ贈答も今のところ頭痛鉢マキの用紙函の小賣店への無料配給など大重だが十二月は郡山支社からの販賣割當が相當に増加され、しかも光の如き高級品が多く勢ひ小賣店に對しても無理な協力方を懇請するがこれに就て

補正割當

専問委員で決定

石城地方事務所管内の本年午前十時から石城地方事務所十三名出席のもとに平石城産米補正割當七万六千石に所會議室で管内婦人會長五婦人會長會開催管内婦人會

平、石城の

連合婦人會結成

石城郡田村農協協同組合事務所で十一日全所の落成式をかね午後一時からの自慢大會に入つたが會場最中二階の底板が大音響と共に落ち五六人の負傷者を出した。

川前中學問題

二校存続で円満に解決

石城郡川前村村會では過般果平隠裡に現行通り二校存來より現在の川前中學校と續案で可決した右の案をめぐつて紛キをききあはせていさん、副會長齋藤カツさん村守江氏石城地方事務所長木村の盡力は村民の賞讃の的と賀次長の外村會議員、村民全村ふ人會の運営に献身的代表二十五名出席のもとに努力を盡したいと語つてい種々意見の交換を行つた結た

綜合産業懇談

十三日午後二時から平市公

参院補選

石城は低調

近く行はれる参院補選に就て各候補とも石城へはまた進出せず僅かに社黨の榊原候補が平驛前で一聲を放つたに過ぎないがしかし石城郡は縣下一の有権者を有し

日曹労組

年末賞與要求

日本水素小名濱工場労組では過般の經營協議の席上千五十八万圓の年末賞與支給方を社に要求したが社側では赤字經營である以上七百五十萬圓迄は支給するがそれ以上はせな

社告

磐城日報社

本紙の休刊日は毎週水曜日(日曜日は発行致してあります)故御愛顧下さいます様切に御願致します。尚紙面の改善につきまして御氣付の点が御座いますら恐れ入りますが編集係迄御知らせの程を兼ねて御願申し上げます。十二月十二日

上好間火事

今朝六時二十分頃石城郡好間村上好間字澤小屋酒井なをさん(四六)方より出火したと拒絶したので近く開か

人事

来る十五日福島労働會館で第四、四半期の失業對策土木事業打合せが開かれるので平市から大塚土木課長が出席

五風十雨

慾に限りはないお正月を控へ連合軍の好意で近くモチ米と砂糖が配給になると發表されたら、こんどは小豆が然しい。小豆がなにかと有閑な主婦達は目の色を變へて探し廻つてるといふ。おかげでニタ／＼と悪魔の様な笑ひをしてるのは聞屋さん、つい先頃迄一升百四、五十圓だった小豆の關値は一足飛びに飛んで二百圓台を越しそれでも容易に手に入らぬといふ事、ナル程モチがつかれ、砂糖があるとなれば、小豆のないのは何より淋しいかも知れないが、だが一昨年迄砂糖はもちろん一粒のち米さへ配給にならなかつた主食受難の時を考へたら小豆な

寫眞は

サンペイ

炭礦保安委員會

設置僅か廿五礦

各炭礦に於ける保安委員會は、礦山保安法に規定されて必ず設置する事になつていゝが、東部炭務生産部の調査によると、管下百四十五炭礦中設置届出をなしたのは常磐炭礦以下三十五炭礦に過ぎず、その他は未設置の状態にあるので、事故防止に万全を期すためすみやかに設置する様々礦へ要望して、尙現在設置を見せるべく、委員數は東部炭務の三十六名を筆頭に總數四百三十五名で委員の色別を見ると、係員一六五名、採炭夫九三名、機械夫三三名、掘進夫三名、運搬夫一九名、支柱夫一八名、電機夫一八名、その他順となつてゐる。

炭務東部臨時總會

炭務東部支部臨時總會は一日午前十時から平

東北六縣炭務組合員數

東部炭務事務局の調査した十二月五日現在による東北六縣の労働組合員數は次の如く、福島縣は炭連、日礦中立、の三ツに分れ二万三千二百六十三名に及んでゐる。

- ◇福島 炭連一萬三千三百七十四名、日礦五千五百八十八名、中立五千八百七十六名、新加入四百二十五名
- ◇茨城 日礦九百十二名

★十一日の午后の事變前を通る戦死者と思はれる人の葬儀があつた、よく見ると立派に軍閥の犠牲になつたこの氣の毒な人に對して心から悔い福を祈つた、が私に實際寒心した事はこの犠牲者にたいし通行人は一向氣にもとめず、心から送るでもなく、見送る位にしてゐた事であつた、だが物好きに死んで行くものがあるか、アノ人も軍バツに追ひたてられて遂に無理死をしたのであつたらう、私はこの情景をながめるとき心がくもり止めどもなく涙が流れてしまつた、はかり知れぬは人の心の奥である。 南町 M M 生



カマヤ

平四丁目四番地

株式 一魚市場

社長 志賀盛榮

電話 二二三九番

祝 創刊

優秀映畫

精選上映

民衆劇場

佐藤子之吉

電話(劇場)九二〇番
(自宅)九五〇番

命大一屋商店

荒物雜貨 紙製品卸
平市二町目一三番 電一三番

食品類 御菓子類
ほていや
平驛前 電一一五六番

食品類 御菓子類
金澤屋
平市紺屋町 電三二七番

平市五丁目
陶器 卸商 入江商店
土管 電話五八二番

便利な店
御婚禮 貸衣裳
井坂衣裳店
平市南町六五

パンは市川
相變らず御引立 有難う御座います
平市田町三中央通り
市川パン店 電九三六番

一般印刷物 承ります
丸山印刷所
スピード印刷 及カレンダー